



熱意に感動!!

東秩父消防団

埼玉県消防操法大会出場!



8月20日(土)、鴻巣市にある埼玉県消防学校にて埼玉県消防操法大会が行われ、東秩父消防団が30年ぶりに出場しました。

消防操法大会とは、地域防災の要として活動する消防団員が消火技術を競い、さらなる技術の向上と士気の高揚を図る大会として、2年に1度行われているものです。第29回目となる今回は、県内各地域から選抜された15隊が出場しました。

東秩父消防団はポンプ車の部に出場し、指揮者の合図で4人の選手がホースおよび吸水管を延ばし、放水して標的を倒すまでの所要時間、動作の正確性や規律などを競いました。選手の皆さんは下記載のとおりです。

埼玉県消防操法大会出場選手 (敬称略)

統率	山崎 一弘	第1分団副分団長	御堂 41歳
選手	福島 光章	第2分団第1部班長	坂本 43歳
1番員	大木 誠	第1分団第1部団員	安戸 30歳
2番員	梅澤 和之	第1分団第1部団員	安戸 34歳
3番員	渡邊 直之	第2分団第3部団員	白石 30歳
4番員	山崎 智秋	第1分団第1部団員	安戸 33歳
補助員	中里 陽紀	第2分団第1部団員	坂本 34歳

～大きな支えのなかで飛躍した選手の皆さん そのなかには家族の姿がありました～

3番員：渡邊直之隊員の奥さまとお子さんにお話を聞きました。



Q. 支える面で苦労したことは？
A. 練習の日は、練習に行くまでの間に仮眠をとり、食事でも練習から帰宅後でしたので、子どもや家族とは生活リズムがずれてしまっていました。ハードな練習によって食欲も落ち、疲労もあったので心配でした。食事は、昼弁当は栄養とスタミナを、夕飯は食べやすいあっさりしたものを考えて作っていました。

Q. お父さんになかなか会えなくて淋しくなかった？
A. 消防の練習の日は一緒にお風呂に入れなかったし、遊べなかったけど、淋しくはなかった。練習しているパパはすごかったよ！
Q. 最後に。頑張った直之さんに一言！
A. 比企操法大会、特別点検、夜警とまだまだ忙しいですが身体に気をつけて無理をしないでね。県操法大会、お疲れさまでした。

選手の皆さんは4月より毎週火曜日・木曜日・土曜日の夜に練習を行い、選手も指導員も、そして手伝いの団員たちも熱い志を持って、本番に向けて本気で挑みました。

結果は日高市消防団の優勝となり、東秩父消防団は入賞こそ逃したものの素晴らしいタイムと操法でした。

競技を終えた選手の皆さんはお互いを褒め称え、やり遂げた

思いがいっぱいになり、その目は涙であふれていました。

応援に出向いた団員たちも大きな拍手で選手たちを迎え、素晴らしい健闘ぶりに祝福の意を表した様子は、消防団員同士の絆をより強いものにしたと思います。最後のあいさつで高田団長も涙を浮かべ言葉に詰まり、うまくは伝えられませんでした。そこには確かに「ありがとう」がありました。